地球温暖化防止

エコラム
ECO-LUMN

Vol.175

問環境保全課☎(29)5100

サステナブルファッションを知っていますか？

近年、SDGs（エスディージーズ）の一環として企業などが取り組んでいるものに、サステナブルファッションがあります。

サステナブルファッションとは衣服の生産、輸送から廃棄に至るまで、将来にわたり持続可能（サステナブル）であることを目指し、生態系を含む地球環境やそれに関わる人・社会に配慮した取り組みのことを言います。

私たちが店頭で手に取るさまざまな服からは、生産する過程で多くの二酸化炭素が排出されます。また原料となる植物の栽培や染色などには大量の水が使われ、生産過程で余った生地などの廃棄物も出ます。

服1着当たりに換算すると、二酸化炭素排出量は約25・5キログラム、水の消費量は約2千3百リットルになります。服を生産する工程で排出される端材排出量は約4万5千トン、服にすると約1・8億着分になります。

また服を手放す際には、古着や資源回収などもありますが、多くの服は焼却され埋め立てられています。

このように、服を作るにも多くの資源が必要になり、環境に与える影響も大きくなります。

一人一人が服を大切に着る、古着を活用する、必要性を考える、作られ方に関心を持つ、資源として活用するなどを意識し行動することで、環境負荷を軽減することができます。

着なくなった服はリメイクして再利用する方法を考えてみましょう

ごみ

ちょっと気にして、もっと気にして！

10月は「食品ロス削減月間」です！

問環境事業課☎(31)5304
環境事業所☎(31)7710
総合支所

「食品ロス」とはまだ食べられるのに廃棄される食品のことです。

日本では毎日国民1人当たりお茶碗1杯分（約130グラム）の食品ロスが発生しています。食品を廃棄するのはもったいないだけでなく、ごみとして処理する過程で多くのエネルギーを消費してしまいます。

日常の生活の中で手軽にできる次のようなことから食品ロス削減に取り組んでみましょう。

- **買い物では**　必要な分だけ購入する
- **食品の保存では**　冷凍するなど長持ちさせる工夫をする
- **調理するときは**　食べ切れる分だけ作る

食品ロスを減らすために、皆さんのご協力をお願いします。

冷蔵庫の中を整理し、保存した食品の食べ忘れを防ぎましょう

ちょっと聞いて

生ごみ処理機器を活用しよう

生ごみ処理機器を使い、水切り・乾燥を行うことで生ごみを減らすことができます。

市では生ごみ処理機器購入費の一部を補助しています。